



山形市立高橋中学校
 学校だより
 令和5年
 12月22日発行
 題字3年東海林幸奈

地域ボランティア 年賀カードをお届けしました



12月1日、本校の1・2年生が高橋地区内にお住まいの一人暮らしのお年寄りの方へ年賀カードをお届けしました。地区ごとに場所を確認し、学校を出発しました。お世話になっている地区の方に中学生の元気を伝えたいと思い、制作しました。



1年生で人権教室を行いました

山形市人権擁護委員の勝見祐子先生をお迎えし、1年生で人権教室を行いました。



自分が悪いことをしているつもりはなくても誰かに深い傷を負わせているかもしれない、ということを入頭に、一つ一つの発言に気を付けて学校生活を送りたい。

世の中には様々な人が生きている多様性の社会なのだな、と思った。少数派の人でも安心して生活できる社会を作り上げていくために、いろいろなことを考えたり、理解したりしていきたい。

誰かに伝えないと伝わらないことがあるとわかりました。

いじめは絶対だめなことだと改めて思いました。

第2回学校運営協議会を行いました。

地域で中学生ができることについて様々なご意見を出していただきました。ぜひ、高中生の成長を、地区の活性につなげていきたいと思えます。電子黒板を使用した授業、タブレットを活用しての授業を参観いただきました。



終業式 12.22 2学期

今日で86日間の、たくさんの成果を残した2学期を終えます。猛暑の中、元気に2学期をスタートしたのが、まるで昨日のことに感じます。

2学期のキーワードとしてお話しした言葉を覚えていますか。「和を尊ぶ」です。この言葉の意味は、「考えの違いを大切にしながら、同じ目標に向けて力を出し合う」ということです。授業中はもちろん、生徒会活動の中で意見の違う人と話し合いながら、納得のいく方向性を見つけて取組を積み重ねてきた皆さんの印象に残るたくさんの姿が見られました。しなやかに違う考えを受け入れつつ、新しいことにチャレンジする行動力を伸ばすことができたのではないのでしょうか。

2学期は、学習面での頑張りはもちろん、資源回収、1・2年生にとっての初の大舞台である市中新人大会、そして運動会、合唱コンクール、生徒会選挙、地域探訪など、やりがいや感動、成長を実感できる大きな行事がたくさんありました。猛暑のため運動会は9月から10月に延期となり、コロナ禍でやっていなかったことを経験したり、例年とは違うスケジュールの中で取り組むことになったり、戸惑いや苦労もあったことと思います。しかし、高楯中は「生徒が主役」の学校。「私たちの生徒会は私たちが創る」、「より良い生活は自分たちで創る」という自覚を持ち、生徒会スローガン「聲 一人一人の思いを大事に聲で繋がる生徒会」を意識し活動できたのではないのでしょうか。まさしく皆さん一人一人が、「聲」を意識し、声を出し、声を聴き、お互いを尊重しながら自分たちの手で「居心地の良い」環境を創っていく、そんなみなさんの姿に大きな成長を感じました。

2023年も間もなく終わります。3学期は短く、それでいて進学・進級を間近に控えた大切な学期です。3学期始業式の日に、みんな元気に再会しましょう。 山形市立高楯中学校長 星川仁一

終業式のあと、進路激励会を行いました。3年生の未来への第1歩を1・2年生で激励しました。激励応援、メッセージ、合格祈願の鉛筆（生徒会スローガン「聲」入り）がプレゼントされました。



1月の予定 12月29日～1月3日 閉庁期間

9日(火)	「いのち輝く安全の日」3学期始業式 弁当日
17日(水)	高中会議
18日(木)	2学年親子進路研修会

